

アマダイ通信NO. 113

(Tile fish network letter) 2016年 百日紅咲く

知人・友人各位

久し振りに日本で開かれた G7 も、低迷する世界経済、混迷する世界情勢への何の打開策もなく終わり、イギリスの EU 離脱はその混迷に拍車をかけた。ニューフロンティアを求めて国境を越える資本、国民国家を基盤とする政治。軋轢が生じ、時に国境さえ変わる。それを繰り返しながら、世界はフラットになり、格差と戦争のない社会、「己の欲するところに従って範を超えない」社会が現実になることを祈りたい。

オバマ大統領が広島を訪問したが、人間の争いは「喰うために殺す」から「殺す」へ、獣のレベルから、人間のレベルに昇華された。殺し合い自体が無くなるのはいつか？

◎「将来不安」からの解放を！

参議院選は自公が圧勝、維新などもいれると改憲発議に必要な 3 分の 2 の議席を占める。改憲が選挙の争点になるのを避けながら、国会では改憲論議が解禁され、いよいよ戦争の出来る「普通の国」への歩を進めることになるのか？争点になったアベノミクスだが、マイナス金利でじゃぶじゃぶ金を溢れさせてもデフレは止まらず、株価も上がらず、円も安くなるどころか、時に百円を突破するところまで戻り、輸出の足を引っ張る。これでは賃金が上がっても先行き不安に駆られ、庶民は生活防衛に回り、消費を抑え、貯蓄に回すだけだ。不安に駆られて積み上がる国民の貯蓄を使って政府は公共投資を行い景気を浮揚しようとするが、恩恵を受ける企業やそこで働く若い社員までも先行き不安に駆られ金を使わないので、景気は良くなる。まして、選挙に負けるからと消費税を凍結、年金や介護、医療の予算を削ろうとすると、国民の将来不安は更に増す。国民のこの将来不安を解消する社会福祉政策、財政政策、経済政策を実施する必要があるのではないか？

参議院選の陰に隠れ目立たなかったが、鹿児島県知事選も同時に行われ、四選を目指した、が最初に落第した駒場の中国語クラスの同級生の伊藤君が落選した。四選の良し悪しは別にして、最近も知事四選禁止条例までつくった埼玉県の上田知事が県議会の反対を無視して立候補、当選した。三鷹寮で一年上の橋本茨城県知事に至っては六選を重ねている。手堅く業績を積んでいるし、舛添君のようにスキャンダルがある訳でもない。今現在、日本で運転している川内原発 1 号基と 2 号基が鹿児島県にある。伊藤君はその 2 基の再稼働にゴーサインを出した。今回はそれが争点になった、当選した候補は川内原発の稼働停止を公約にしていた。かなりの差がついた。幸いこの夏も原発が稼働しなくとも、電力不足に追い込まれる不安はないとのことだ。稼働中の原発 2 基を止めて、日本のエネルギー政策を根底から考えてみるいい機会ではないか？

消費税も、税率アップの延期を機会に、同じように考え直してみてもどうだろう。先進国、途上国を含めて格差が拡大し、社会が分裂、テロや内戦が多発する時代に、金持ちにも貧乏人にも同じ率でかかり、格差を助長する消費税は止めて、所得税の累進課税を強化したり、相続税を高くすることなどで財源を確保、社会福祉を充実して、貧富の格差を少なくし、社会の連帯を強化、安全で安心な社会の維持を目指すべきではないか？

◎舛添君

舛添都知事へのマスコミの集中攻撃がクライマックスに達し、都議会与党の自公も底い切れなくなりつつあった6月初旬、「東大三鷹クラブ様、今回、私どもテレビ朝日スーパーJチャンネルでは、6月12日（月）に15分ほど、『舛添都知事の生い立ち』特集を予定しております、大学時代の舛添氏を語る際に、東大三鷹クラブ様のホームページで『会員が語る三鷹寮の思い出（42年入寮 舛添要一）』の部分を引用させていただけないかと思ひ、ご連絡させていただきました。また、42年入寮時の舛添氏が映っている集合写真もお借りできないでしょうか？このような事態の中、ぶしつけなお願ひで大変申し訳ありませんが、ご検討よろしくお願ひ致します。」と、三鷹クラブのホームページにアクセスがある。「ホームページで公表している情報なのでお使い下さって結構です」と返事したら、「取材もお願ひします。」ということで、10日（土）午前、マンションの応接室でと思ったら、建物内撮影は有料で、取材料3万円頂きますということで、晴海の運河沿のテラスでインタビュー。月曜日夕方のニュースでドアップの赤シャツ姿の●●の映像が3分間ほど流れる。テレビ朝日のニュースを見たと何件かメールがある。

寮で1年下、「私は民社党支持ですから」と、集会やデモへの誘いには一切乗らず、熱心に勉強、寮では全く目立たなかった舛添君。●●は寮委員や委員長をやり、宣伝チラシを小脇に抱え、東大闘争やベトナム反戦の集会やデモに行かないかと夜毎部屋回り、オルグ（勧誘・組織）に忙しかつたので、そんな地味な舛添君も覚えているが、他に彼を知っている仲間もいなくて、一年上の●●にお鉢が回って来た。インタビュアーは、寮の中で孤立してませんでしたか？とか、女性に持ててましたか？頭は良かったですか？お金にこだわってませんでしたか？強引じゃありませんでしたか？など、予めのシナリオにそった答えを誘導しようと水を向けて来る。講演料など要求することはなく、同窓会と寮生の前で3、4回手弁当で講演してくれましたよ！民社党支持を公言、集会やデモへの誘いには一切乗らず、古い木造の2階の寒風吹き込む汚い部屋で、どてらを着て、熱心に勉強していた姿しか記憶にありませんと話す。ほとんど放映されることはないような応えしかできない。だが当日夕方、話した内容についてディレクターから確認の質問が入る。更にインタビュアーから「●●さんの肩書は何にしましょうか？」と電話があり、オンエアされる。

テレビ朝日の番組を見た日本テレビからも、夕方のニュースで放送したいとインタビューの申し込みがあるが、時間が取れず、木曜日の名古屋・大阪出張前、品川駅界隈でインタビューをうけることに。ところが知事不信任案に自公も賛成。次の知事は誰か？へと関心が移ったからか？日テレのインタビューは中止に。フジからも打診があるが、沙汰済み。思いがけずテレビ朝日のニューススクランブルのスタッフからあらためて取材依頼があり、木曜日夕方、営業先のゼネコンの玄関前から取材のワゴンに乗り、本郷のキャンパス、事務所と取材を受ける。キャンパスで偶々一緒になった院生の兼子君（元准ミスター東大のイケメン）も巻き込み取材に応じるが、翌朝10時半からのテレビ朝日のニューススクランブルの放映時間帯は、井水利用専用水道の営業で鹿児島へ移動中で、本人は又も見れず。

◎蛍も色々！

電源開発（Jパワー）の井水利用専用水道システムの営業を一緒に手伝う同社のOBと久しぶりに飲む。早めに飲み終えたので、蛍を見に行こうということに。東京で一番古い、

すき焼き屋、湯島の江知勝から、目白の椿山荘までタクシーを走らせる。目が闇に慣れてくると、都会の喧騒から隔離された明治の重鎮、山縣有朋の旧邸の庭園の暗闇の中を、淡い光の尾を引きながら、ゆらり、ゆらりと蛍は翔び、白とも、黄とも、若草色とも言えぬ柔らかな光が、すーっと消えては涼しさを感じさせる。

昨年末のニュージーランドの鍾乳洞と、その前年末のオーストラリアの原始の森の奥の洞窟で見た土蛍は、瞬きもせず白く、夜空の星の如く、輝き続けていた。その白く冷たい光は、蛍とは言いながら、蚊だったか？ 蠅だったか？ が、他の虫を絡め取るために排泄した粘着物の光だった。更に以前、ボルネオの大河の畔では、川面にその姿を映しながら華やかに群舞する、豆電球くらいの大きさの蛍の光の饗宴に圧倒された。

今、異国の「蛍」とは違って、東京のだ真ん中、和服姿の綺麗どころも交じる、ホテルの庭園の目の前で、ほろ酔い機嫌で見る、日本舞踊の所作にも似た源氏蛍の乱舞は、庭園を流れる清流の維持と餌になるカワニナの繁殖という人間の営為によってようやく維持されている。椿山荘の水の9割は電源開発が供給する。東京では今は新規に井戸を掘ることは条例で禁止されているが、椿山荘には古井戸があって、その井戸を電源開発が改修、更に膜濾過などの浄化設備を設けて、椿山荘に水を安く供給する。椿山荘は年間1千万円ほど水道代を削減した上で、水源を二重化、地震等の災害で都営水道が止まっても、井水を使って営業を継続出来る。おまけにここでは人間が飲むに美味しく安全な水と、溪流に住む蛍とその餌のカワニナが生活するに最適な水と、下流の池で泳ぐ鯉が増え過ぎないように繁殖をコントロールする、3種類の水を供給するという離れ業。

民営化後の電源開発の新規事業の、井水利用専用水道事業の営業を手伝って10年近く、椿山荘の他に新宿京王プラザホテル、東大病院、医科学研究所、最近も赤坂プリンスホテルを再開発してオープンした、紀尾井町ガーデンテラスでも導入して頂いた。近く、ホテルグランビアと近鉄デパートが入る JR 西日本の和歌山駅ビルでも同様の施設がオープンする。椿山荘は親会社の藤田観光の更に親の DOWA ホールディングスの吉川社長(故人、S37年入寮)に、赤坂の件では旧運輸省の友人諸兄に、和歌山の件では JR 西日本の三鷹寮の先輩諸兄にお世話になった。

お客様は費用も不要、リスクもゼロで、水源が二重化され事業継続性が高まり、水道料金も削減できる。世の中にこんな旨い話があるかと言われるが、工業用水を大量に汲み上げ地盤沈下の原因となった大きな工場が地方へ、海外へと逃げ出し、地盤沈下の恐れがなくなった平成13年になって、何故か東京では新規の井戸掘が禁止となった。舛添君が知事になって何度か知事室に足を運び、震災の際に帰宅困難者を収容する大きなビルや公共施設、駅ビル、災害拠点病院などは井戸が掘れるように、条例の改正を訴えた。防災部局は当然のことながら賛成だ。環境部局も、賛成だがかつて地盤沈下の酷かった下町に行くと、井戸のイと言っただけで話を聞いてくれないんです！という。舛添君には強力なリーダーシップを発揮して欲しかったが、今となっては残念だ。

阪神淡路、東北の震災でも、今回の熊本の震災でも、水道が止まってトイレも使えない！手術も人工透析もできない！事業を継続出来ない！と悲鳴を上げた施設が沢山あった。年間水使用量が4~5万立米の施設では実現可能性がある。お役に立てると嬉しい！

◎育爺による、育爺のための育爺？

6月最初の週明け、乳母車を育爺が押して病児保育室に孫息子と同伴出勤。泣いてる子がいなかったからか、孫息子も泣かずに見送ってくれる。品川で駅弁を買おうと思うが、顧問先のお握りセットと食べ比べてみよう、新幹線の改札口近くのお握り屋「こんがり屋」で鮭お握りと鶏めしのむすび、唐揚げと卵焼き、薄い沢庵1枚のお握りセットを買う。お握りも卵焼きも、バスタ新宿のJRの鉄道改札内に出来た顧問先の菊太屋の「米屋のお握り屋」の方が美味しそう。米やご飯の炊き方、握り方の違いもあるのだろうが、お店で握りたてを出す違いもあるのか？鮭も違う。菊太屋の鮭は絶品で、東井社長によれば鮭だけ卸してくれないかという話もあるという。幸せなことに、乗ったのぞみにはウォシュレットがついている。久しぶりの新幹線ウォシュレットは快適だ。午後一から3件アポをこなし、5時過ぎに新大阪の美々卯で待合わせ、うどんすきと凍結酒で、緑の地球ネットワークの副代表に退いた形の高見君と、高見君に代わって事務局長に就いた東川さんの激励会。新幹線をホテル代わりにして帰る。

熱と下痢、結膜炎で1週間病児保育室通いの1才の孫息子、結膜炎はアデノイドウイルスが原因とのことで、翌週も育爺による同伴出勤は病児保育室スタート。4月の入学以来風邪一つ引かず元気に学校通いの孫娘だが、弟のアデノウイルスに感染、二週間振りに孫息子が保育園に復帰すると入れ替わりに病児保育室へ。●が仕事でも♀●が元気なら我が家で孫達の面倒をみてあげればいいのだが、残念ながらこのところ体調がすぐれない。8畳一間くらいの保育室では学童には狭く苦しい。畳に座って本を読んだり、絵を描いたりしていると、小さな子に邪魔されるからと、窓際の物入れの棚の天板の上に本やノートを載せ、読書やお絵描き、自分の居場所を見つける。その翌週も下の男の子は元気に登園するが、結膜炎治りかけの一年生、今度は腸炎でダウン。又もや病児保育室スタート。病児保育室で大泣きのヨチヨチ歩きの男の子、おいでおいでしたら●育爺の胡座の間にすっぽり納まって泣き止む。孫がもう一人出来た気分だが、帰り際、保母さんに手渡したら、手足をばたつかせて更に大泣き。かえって悪いことをしたか？

育爺が近くにいるのも少しは娘達の役に立っているかと思うが、保育園は湾岸の超高層マンションの3階、娘達が住んでいるのが31階で、エレベーターで縦移動し、横に少し歩くだけ。「育爺による、育爺のための育爺」のような感じだが、病児保育室までは一駅分多く歩く。その分少しは役に立っている気分だ。小児科クリニックに併設された病児保育室は診察前置制なので、クリニックの営業の一環でもあるが、働きながら子育てする若い親にとっては心強い援軍だ。病児保育システムがなかった●の子育て時代は、病気で登園出来ない子供を両親のどちらかが仕事を休んで世話するか？いつも大問題だった。会員制で、会費の他に中央区では1日の保育料金が2千円。それで足りる筈がないので、差額は区が補助している。経済的にも助かるが、キャンセル待ちのこともある。まだまだ足りない。

のオーストラリア紀行Ⅲ・・

(‘15.8.8~14、クラブツーリズム「オーストラリアの休日7日間」)

◎歴史をつくる、残す

1787年5月13日、イギリスのポーツマス港から初代総督アーサー・フィリップ以下、役人、将校、海兵隊計200人、その家族50人と750人の囚人男女の乗る11隻の船が出発、

目的地ニューサウスウェールズ (NSW) に到着するのは8ヵ月後の1788年1月20日。1770年4月にエンデバー号でキャプテンクックが初めてシドニーのポタニー湾に上陸、英国国旗を立てたNSWが、ようやく流刑植民地として建国の道を歩み出す。330年ほど経て、人口2300万人に増えたオーストラリアで、人口530万人のシドニーは南半球で一番の町で、利便性の高い都会でありながら、公園など緑も多く、寛いだ雰囲気のある街だ。オペラハウスなどのモダンな建築と、開拓時代の風情を残す建物が調和する景観も素敵だ。

最初に向かったのはミセス・マックオリーズ岬。シドニー湾の東側に位置、オペラハウスやもう1つのランドマーク、ハーバーブリッジ、CITYの高層ビル群も一望。さらに東側の軍港地区も良く見える。初代総督フィリップが苦勞して発展の基を築いたNSWだが、1792年に彼が去ると秩序が大きく乱れる。その秩序を建て直し、フィリップと共に「オーストラリア建国の父」と呼ばれるのが、1810年に着任した第5代総督マックオリーズ。総督夫人がここからの眺望を愛したことで、その名前がつけられた。総督が夫人のために岩を削って創ったというベンチから水辺に降りると、岩に張り付いたヒザラ貝や紫貝が、白神の海と同じように、小浪に洗われている。続いての見学は世界文化遺産、オペラハウス。1956年の国際コンペ。8等分したオレンジの皮からヒントを得たとも、疾走するヨットをイメージしたとも言われる、38才のデンマークの無名の建築家の作品は、コストが最も安く、工期も3年と短く考えられたのが決め手で採用された。だが1973の完成まで14年を要し、当初見積りの10倍以上のコストがかかったという。内部はコンクリート打ちっ放し、外側は白く輝くタイルで覆われ、貝殻をイメージさせるセイル型屋根の下にはオペラ劇場、コンサートホールなど大小4つの劇場と5つのリハーサルスタジオ、レストラン、バーなどがあり、毎日、様々なジャンルの世界トップクラスの公演が行われる。次に訪れるのはシドニー大学からの交換留学生、我が唄娘サラ・オレインのシドニー凱旋公演になるのだろうか？橋桁は鉄で基礎は鉄筋コンクリートだが、橋脚は木製の回転橋(ビアモント橋?)の下を通して、ポテト&チップスのお昼。分厚く黒い塗装が施されているが、朽ちた木肌が見える部分も。ユーカリは油分が多く腐りにくいし、新興の植民地では鉄の入手が難しかったのだろう。昔は馬車が渡った橋を、今は車が走る。上に跳ねる勝鬃橋と違って、横に回転して船を通すこの橋のシステムはまだ現役だという。鉄製の橋桁を優に越える高さの客船が湾奥に停泊。オーストラリアは真冬。暖炉の燃えるイタリアからの自由移民がつくったイタリアレストランで、ピザとパスタではなく、白身魚のフライとポテトチップスを肴にイタリアビールジョッキ7ドルと地の白ワイン7ドルで、昼からいい気分。

食後、CITYを車窓観光しながら、フィリップ率いる最初の移民団が開拓の鋤を先ず入れたロックスへ。この辺りは岩だらけの地質、2年分の食料しか携行せず、宿舎から燃料まで、何から何まで手作りしなければならない開拓団は大苦勞。自由移民と違って自分の意志で来た訳ではないので、生産性も上がらない。こんな遠い地に流されて来た囚人だから、さぞかし鬼ヶ島に流された俊寛や隠岐に流された後白河法皇、セントヘレナ島に流されたナポレオン、シベリアに流されたロシアのナロードニキボドではないにしても、足掛け3年中野刑務所に幽閉された●のように、国家転覆の罪に近い重罪犯を想像するが、当時のイギリスでは1枚の下着、ひとかけらの砂糖を盗んだ者、家主に無断で他人の庭でスケートした者まで、2百近い犯罪で最高刑の死刑！何でも罰金の今のシンガポールより酷い！それではあんまりだと刑一等を減じて流刑にし、アメリカに送り込んでいたのだが、

アメリカとの独立戦争に負けて流刑地がなくなり、オーストラリアが必要となる。そんな流刑囚に勤労意欲がある筈もなく、周りは文字通りの岩山で、苦勞。あめとむちの政策で囚人を働かせ、肥沃な土地を探し、持参の食料が底をつく直前、国禁を破って欧米の捕鯨船の寄港を認め、代わりに食糧の提供を受け、危機脱出。その地が現在、入植・開拓当時の歴史的建造物が並ぶ観光地として、末裔のために貢献。歴史的建造物の外観の変更は許されず、建て替える際も古い外観を再現しなければならない。生まれながらの爺婆！そのロックス地区を散策、船団寄港の港やウェディングドレス姿のチャイニーズが撮影中の路地を楽しむが、お尻が落ち着かなくなる。集合場所のホリデーインでトイレを見つけるがカードキーがないと開かない。向かいのフードコート裏に回って、危うくセーフ。日本のどこでもトイレがなつかしい。

中華街のホリデーインにチェックインするが、ホテル前でバスの前部に、車線変更したライトバンが接触、中年の中国人カップルがまくしたてるが、警察が来ない。バスを降りてホテルに入る。夕食まで間があるので、添乗員のクラブツウリズム社員の若い本田女史の先導でCITYまで片道30分のブラリ旅。外観は昔のままだが、中は素敵なマーケットや1928年に60年かけて完成したものの、資金不足のため2本の尖塔は1998年ようやく完成したという、気長なゴシック式のセントメアリーズ大聖堂や高さ309mのシドニータワーなどを見上げ、賑わう繁華街の散策を楽しむ。白人の物乞いを2人見かけるが、多いのか、少ないのか？複雑な形の外壁なりに、2本の支柱に支えられ昇降する足場、ワークプラットフォームで外壁を改修工事中の高層ビルも。最新式のワークプラットフォームの営業も手伝う🐟としては我が意を得たりの思い。カメラの電池がきれたので、セブンイレブンに入るが。ホテルの近くのスーパーでようやくゲット。

ホテルに帰って、オーバーフローの排水口もなく、居室よりも高い浴室のバスタブに浸かり、リラックス、夕食へ。日本人経営のレストラン「だるま」で久しぶりの和食。刺身や焼き魚、天ぷらなど、大きな弁当箱に一通り収まり、松花堂風だが、居酒屋の作り。異国とあれば結構な値段なのだろう。盛り沢山の肴に盛り上がり？5ドルの地ビールではなく、なぜか沖縄のオリオンビール7ドル2杯と美少年純米酒300mm15ドルをやる。女3人男1人がテーブルを囲み酒盛り。飲んべえ組を残して本隊を先ずホテルへ案内、酒盛りが終わる頃を見計らい再登場の添乗員さんに道案内して貰い、千鳥足で無事ホテル帰還。
(続く)

◎美容医療の実際・東大三鷹クラブ第127回定例懇談会のご案内

征矢野進一(神田美容外科形成外科医院 院長、昭和47年入寮)さんに初めて会ったのは、三鷹寮に馴染み長居をしていた北寮先住者2名に、新入寮生6人(1室8人)中の一人として彼が合流した1972年4月の事であった(同室仲間とは、その後彼の医院を集合場所に神田界限で飲み会を開くなどの交遊が続く)。長髪にジーンズが似合うカッコいい“二枚目”。長野県上田高校からAFS留学後に、最難関の理Ⅲに現役合格との経歴から、世の中には“二物を与えられる”人もいるのだというのがその時の第一印象。

その年の三鷹寮祭では、グラスや飲み物を某社から無償調達し、バー運営。新人パワーで大盛況、売上即儲けのいい商売をさせて貰った。その際バーテンダーとしての彼の技量・

手先の器用さが出色。カクテルの作り方やピックの使い方の指南に秀でており、ズブの素人のその他面々でも何種類ものカクテルを提供できるようになり大いに助かった。

「将来、形成外科医として開業独立する」が、入寮時点から彼の明確な目標であったが、それは後に、医院開設祝賀会で主賓（東大形成外科福井修教授）から、「開業医独立が入局当時からの本人希望だった」旨の祝辞があり、裏付けられることになる。

在寮2年足らずで退寮、ダンスパーティーで出会った奥様と、その数か月後には学生結婚するなど、当時流行りの“同棲時代”を突き抜け、21歳で大きな決断を下せたのは確たる意志と大人の雰囲気がある若年時から持っていた為というのが小生の分析・理解。

本郷進学後の経歴は、1979年3月 東京大学医学部卒業、1979年～1988年3月まで東京大学医学部形成外科所属、1988年1月 医学博士学位取得 同年4月 神田美容外科形成外科医院開設。日本形成外科学会専門医、日本美容外科学会専門医、第37回日本美容外科学会総会会長（2014年開催）等々。なお、第37回日本美容外科学会総会会長職は、恩師の福井修教授が第7回総会（1984年開催）で担った名誉ある役職に30年後就任と付言しておく。

東大病院医局時代にコラーゲンの治験に携わり、日本初の「注入剤によるシワ取り治療」を確立した一人であり、以来20年以上にわたりコラーゲンやヒアルロン酸などのシワ取り注入剤の研究を重ねた実績は、注入剤の販売会社が新製品の効果を知るべく、商品化の判断につき相談に来院すると仄聞しており、当日は、注入治療分野のパイオニア・第一人者からの様々な知見、エピソードを拝聴できるものと楽しみにしています。

（昭和45年入寮 瀬端 和男記）

日時：平成28年7月20日（水） 18時30分～21時（開場18時、会食18時30分～）

場所：学生会館本館302号室（千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931）

会費：6000円（会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み）、別途二次会

申込先 FAX 03-5689-8192 TEL 03-5689-8182

（有）ティエフネットワーク Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎三鷹寮現役学生の生物学ロボコン世界大会出席活動費支援の呼びかけ

辰さん（S40年入寮）からの呼び掛けを転送致します！小生も些少の協力をさせていただきます。宜しくお願い致します。

三鷹クラブの皆さん、現役の三鷹寮寮生 竹内 碧（たけうち あおい）君（男性です、理科2類1年、推薦入学で薬学部進学確定）から添付メモの如き資金カンパの依頼が届きました。

東大生は世間で言われる程に内向きになっている訳でなく、彼のように果敢に世界に伍して研究活動をする学生もいることはこころ強い限りです。一方で決して経済的に恵まれて居ない学生が費用面で参加を躊躇う事実を訴えられ、先輩として何がしても応援したいと、資金カンパを呼びかける次第です。金額は問いません、一人でも多くの方が賛同頂き、添付記載の銀行口座に振り込み方お願いします。

振り込み人名義を三鷹クラブ誰それと明記して頂くかメッセージに三鷹クラブと記載して頂くと有難いです。万一、振り込み人名義ないしはメッセージに三鷹クラブが挿入出来ない場合は呼びかけ人宛メールを戴ければ取りまとめて竹内君に結果を伝えます。

尚銀行名は正しくは、三菱東京UFJ銀行です。(40年入寮 辰 紘)
htatsu0621@gmail.com、+81-90-5502-8145、+81-422-42-3296

◎本郷の中華料理屋で若者と飲み会

5月下旬の週末、土曜日6時から、OB含め、寮の若い諸君と飲み会。事務所とする予定が、寮生委員会の高田委員長から普段いけない中華料理店に行ってみようという要望。それなりの外食も中々ままならないんだと、かつての自分にダブる。「欠食児童」の要望に応え、いつもの上海厨房「随苑」本郷三丁目店を予約、取り敢えず事務所集合、直ぐお店に移動し、17人で盛り上がる。

切手大の大きさだが、北京ダックも味わえ、2時間飲み・食べ放題で1人2880円、お好みの中華料理を頼んで、現役の欠食児童の皆さんに沢山集まってもらい、腹一杯ご馳走するには丁度いい。紹興酒初体験の若者に異国のお酒も思いっきり楽しんで貰えれば、安いもの。フランス料理にはワイン、ギリシャ料理にはウズウが美味しいのと同じように、やはり中華料理には紹興酒。事務所に移って二次会。今回は留学生も多く参加、お互いの語学力と、他文化理解の向上にも役立ち、三鷹寮のネットワークも広がると嬉しい。

参加者は、青山 絵里香 (2016・文Ⅲ・愛知・一宮)、岩坪 実矩 (2016・文Ⅲ・鹿児島・ラサール)、大森 弘理 (2016)、桐谷 詩絵音 (2016・文Ⅲ・愛知・旭丘)、荒井 志織 (2015・文Ⅱ・茨城・土浦)、高田 夏輝 (2015・文Ⅲ・愛知・岡崎)、北條 新之介 (2015 (院)・総合文化研究科地域文化研究専攻アジア科中国・栃木・真岡→東北大)、杉浦 ちなみ (2012 (院)・教育学研究科・岐阜・可児→名古屋大)、Lian Castillo (Master1・Interdisciplinary information studies・Philippines)、張 喩 (Master Research Student・Architecture・China Wuhan・Wuhan university)、陳 良 (Doctor2・Department of Nuclear Engineering and Management・China Nanyang・Tsinghua University)、Thanuja De Silva (Master2・Geotechnical Engineering・Sri Lanka・Peoples Friendship University of Russia)、陳 葦中 (Graduate Student・Taiwan Taichung・National Taiwan University)、陳慶開 (Graduate Research Student・China Fujian・Chongqing University)、袁天宇 (Master1・Shanghai Jiao Tong University)、OBが宮本 洋之 (2008・文Ⅰ・大阪・洛南 (京都))、久保 啓行 (1995・文Ⅱ・京都・洛星)、辰 紘 (1965・文Ⅰ 教養学部教養学科国際関係論・大阪・三国丘)、干場 革治 (1966・文Ⅰ・秋田・能代)

◎終わりに

教養学部のように、サークルの一気飲みで学生が急性アルコール中毒で死亡、訴訟沙汰になったから、一律に20歳まで飲んではいけない！というのではなく、寮生諸君には会話の潤滑油としてのお酒も、飲まれるのではなく、上手に楽しめるようになって欲しい。

以前は寮でのイベントの後、近くのファミレス華屋与兵衛(S43年入学、駒場で中退の元東大全共闘、奥方も45年入学の元東大全共闘の小川健太郎君がオーナー経営者の牛井のすき家のゼンショウ傘下)の和室を借りきって二次会をしたりする。年齢70歳近く、午前様になるのはしんどいし、若い諸君ともコミュニケーションが途絶えがちで、ここしばらく休止している。出来れば、渋谷の駒形どぜうでドジョウ鍋や鯉のあらいを味わう「味は文化だ！」シリーズも復活、淡水魚を生食、あっと驚く留学生との交流も楽しみたい。(再見！)